

第22回 歴史&ハイキング愛好会例会 実施報告書

～世界遺産・国立西洋美術館と上野・鈴本演芸場での寄席見学～

当番世話人 藤井 弘道

芸術の秋となり、2016年世界遺産に登録されて間もない“世界遺産・国立西洋美術館見学”と日本の伝統話芸の一つである“上野鈴本演芸場での寄席見物”を企画しました。

11月22日（水）JR上野駅公園口にAM10:00に集合。寒波襲来で寒さが気になりましたが幸いそれほどでもなく定刻には全員14名が集合。まず近接した西洋美術館に向かった。

東京都の計らいで65才以上入場は無料。西洋美術館が世界遺産となった主因であるフランスの建築家“ル・コルビュジエ設計”を少しでも理解すべく音声建築ガイドを借用し見学した。展示作品も実業家“松方コレクション”の収集品400点がベースで中世末期から18世紀までの絵画、19世紀後半の写実主義や印象派から20世紀後半までの著名な近代絵画、ロダンの彫刻など著名な作品が多数あり、独自の建築構造と素敵な採光でこれまで経験したことがない雰囲気鑑賞出来大変よかった。見学後西洋美術館前で集合写真撮影の後、落ち葉散る桜並木の上野公園大通りを抜けて演芸場に向かった。昼食は通りのコンビニで各自調達し12時半～4時半まで昼の部を飲食しながら話芸を堪能した。これは最高の贅沢と感じました。大半の出演者は新進気鋭、売り出し中の若手芸人でしたが皆真剣そのもので、何事も一芸に秀でることの大変さを痛感しました。

☆ 藤井世話人より“世界遺産・国立西洋美術館”の案内



★ 西洋美術館 館内





参加者（敬称略） 14 名

岩崎正憲、宇田川修笹、遠藤哲也、小口健一郎、小澤敏宜、住田勝治、田代 周、
中島公一、西方善方牧田賢二、六角 学、浦上宜明、宮武 亨、藤井弘道



☆ ・上野公園大通りを抜け“鈴木演芸場”へ

